



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第47号
2020年10月

新型コロナウイルスから“命と暮らし”を守る!

【ご挨拶】

多くの皆様へ、ご支援ご協力をいただきまして、無事に市議会議長の職を務めあげることができました。ありがとうございました。

今後は、更にパワーアップをして、皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街・深谷」を実現して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげて下さい。

【議会報告】

深谷市議会 令和2年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

主な議案

- ・令和元年度一般会計歳入歳出決算（認定）
- ・令和2年度一般会計補正予算（第4号）（可決）
- ・指定管理者の指定について（可決）
- ・『議員提出』新型コロナウイルス感染症対策条例について（可決）（他、市長提出議案19件・議員提出議案1件・報告1件）

令和元年度 決算の概要

一般会計歳入歳出決算は歳入593億5千777万8千449円、歳出548億7千732万4千250円となり、歳入歳出差引額は、44億8千45万4千199円、翌年度に繰越すべき財源15億5千100万8千42円を差し引いた実質収支額は29億2千944万6千157円の黒字となりました。（下図参照）

決算から見る“清水”の注目ポイント

私が決算特別委員会委員長に就任し9月11、14、15日の3日間集中審査を行いました。令和元年度の主な事業は、新庁舎建設事業、岡部公民館建設事業、消防分署耐震化事業（岡部・豊里）が行われました。また、地域通貨ネギーなどの産業価値向上事業など新しい取組みも行われ、第2次深谷市総合計画に掲げた、「元気と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向け各種施策が実施され、市民生

活の向上と新たなまちづくりの実現のために予算が使われました。一方、将来的な人口減少、急速に進む高齢化、公共施設の老朽化等により、本市を取り巻く環境は厳しい状況にあり、特に新型コロナウイルス感染症の影響による市内経済、更には、今後の財政運営には注視して行かなければならず、持続可能な行政サービスが提供できるよう、事業の効率化・自主財源の確保に努めていく必要があります。

主な議案・注目ポイント “埼玉県初の条例制定” 議員提出

新型コロナウイルス感染症対策条例：全国で感染者が増える中、感染者或いは感染の疑いがある方に対しての差別的発言や誹謗中傷が問題となっております。その傾向は、子どもたちにも広がっているのを見て胸が痛み、何とかしなくてはと思ひまして、私が原文を作成し、会派議員11名で勉強会を開き、条例案を9月議会に上程し、全会一致で可決承認されました。

新型コロナウイルス感染症対策条例【抜粋】

（市議会の責務）

第4条 市議会は、市民等の声が反映された新型コロナウイルス感染症対策に関する施策が推進されるよう、関係機関との連携の下に新型コロナウイルス感染症対策に取り組まなければならない。

（市民等の責務）

第5条2 市民等は、新型コロナウイルス感染症に「り患」し、又は「り患」のおそれがある者に対し、これらの者であることを理由として、不当な差別をしてはならない。

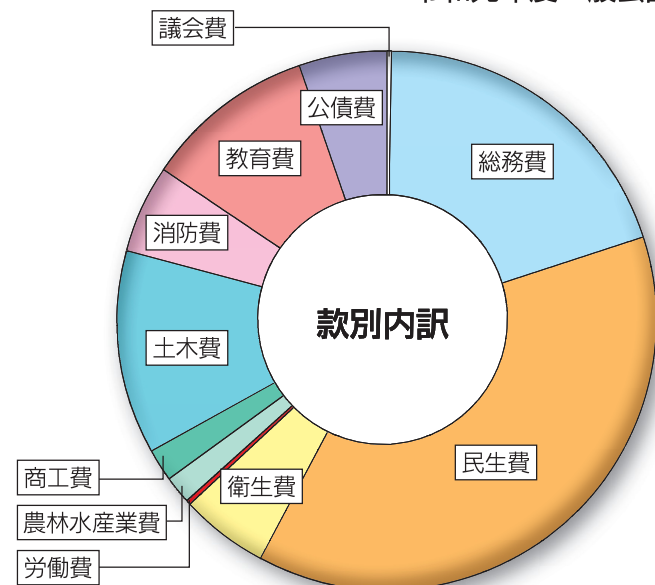
補正予算の注目ポイント “宅配ボックス” 設置費補助事業開始

本年6月議会の一般質問で、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、「新しい生活様式」の構築のため、非接触で荷物を受け取ることができる、“宅配ボックス”の設置費補助事業を行うべきと提案させていただき、9月議会で補正予算が成立し補助事業が開始されました。

尚、補助率は50%で上限8万円です。詳しくは市ホームページをご覧ください。

※本事業は、国の地方創生臨時交付金を活用して行われますので、原則、市の支出はありません。

令和元年度一般会計歳出決算款別内訳



（款別）（単位：千円、％）

款	決算額	構成比
1 議会費	293,291	0.5
2 総務費	10,765,675	19.6
3 民生費	20,746,162	37.8
4 衛生費	2,922,395	5.3
5 労働費	83,140	0.2
6 農林水産業費	918,155	1.7
7 商工費	1,059,118	1.9
8 土木費	6,753,089	12.3
9 消防費	2,940,102	5.4
10 教育費	5,549,808	10.1
11 公債費	2,846,388	5.2
合計	54,877,324	100.0

9月17日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「奇巖怪石磊磊横勢衝青天 攘臂躋氣穿白雲唾手」 (洪沢栄一翁)

きがん かいせき らいらいとして横たわる 勢いは青天を衝き 肘を振って登り！手につばして行く！

大河ドラマ『青天を衝け』の題名の由来となりました、当時19歳の栄一翁が残した、小詩集「巡信紀詩」にある一文です。

長野県佐久市にある内山峠を“藍”の商売で旅した折に読まれた漢詩が、今も石碑に刻まれております。内山峠は今でこそ整備されていますが、険しい山々が連なり、当時はある意味、命がけの旅ではなかったかと思えます。コロナ禍の中、私たちも厳しい状況下ではありますが、勇気をもって立ち向かって行かなければと戒めております。



議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行います。

質問 市役所の“通話録音”について

新庁舎となり、市役所に電話をかけると、通話録音に関するメッセージが流れて、「驚いた」とか「待たされて、繋がったと思うと、担当者が電話中で掛け直す事が度々あった」という話を市民の皆様から持ち掛けられております。

そこで質問します。通話録音装置の設置及び運用に関する趣旨目的、個人情報の保護及び録音データの保存管理、管理責任者について伺います。

答弁 通話録音に関しましては、電話対応における行政サービスの向上、不当要求行為等への対応、また犯罪防止の観点から、新庁舎建設を契機に始めましたが、通話内容には、議員ご指摘の個人情報が含まれることから、厳重に管理しております。なお、新たな取組みですので、市民のご理解を得るために、趣旨目的、適切な管理に関して、運用基準を要綱などで明文化し、市のホームページや広報などで周知していくよう検討を行っております。

質問2 “振り込め詐欺防止”について (通話録音装置設置補助)

国が振り込め詐欺に代表される「特殊詐欺」の統計を取り始めたのが、今から16年前の2004年で、その年の被害額が約284億円でした。最も被害が多かったのが6年前の2014年で約566億円です。

こうした状況を鑑み、埼玉県は3年前の2017年に県内でも被害が多発していた、川口市と草加市への「振り込め詐欺対策機器(自動通話録音装置)」の貸し出し事業を行い、1年後にアンケートを行った結果、不審な電話は激減し、詐欺被害もなかったとの回答がほとんどでした。何より、通話録音装置取付け後は、とても安心できたという回答には目を奪われました。そこで質問します。県南の市町で通話録音装置の貸し出し事業などを積極的に行っている中、対策に遅れのある地域で今後被害が増えるのではと危惧しますが、深谷市でも無償貸し出しや設置補助を行うべきだと思いますが市の方針を聞かせて下さい。

※通話録音装置＝振り込め詐欺見張り隊(警察庁推奨品) 定価12,800円

答弁 令和元年の市内被害件数は10件で被害額は1,084万円となっております。また、被害に遭われた方の多くは高齢者であり、市内の65歳以上の高齢者のみの世帯は、16,787世帯であることから、今後の被害状況を注視しつつ、事業の費用対効果などを調査・研究していきます。

再質問 埼玉県は昨年3月19日付けで「特殊詐欺撲滅条例」を公布

しました。その中で、市町村が特殊詐欺の被害防止に関する施策を実施するために必要な協力及び支援を行うと明記し、必要な財政上の措置をするとも決めています。今後、調査・研究していくとのことですが、県と協力して行っていくのか聞かせて下さい。

再答弁 県でも特殊詐欺防止に関して、補助事業を行っていることから、協力して進めていきます。

清水の私見 市が犯罪防止などに有効であるとして、新庁舎の通話録音事業を開始した中で、警察庁や埼玉県が振り込め詐欺被害防止に有効とする通話録音装置の無償貸し出しや設置費補助事業を行い、市民の財産を守り、安心を確保することは大切なことだと思います。また、県が財政的な支援を行うとしているのですから早急に着手するべきと提言を続けていきたいと思っています。

質問3 “学校教育”について

本年8月13日、文部科学省から「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、学校教育活動などの実施における“学びの保障”」について告示がされました。最終学年以外の児童生徒に係る教育課程に関して、令和3年度又は令和4年度までの教育課程を見通して検討を行い、次学年又は次々学年に移して教育課程を編成することを可能とする特例が設けられました。そこで質問します。各学校において、年度当初から計画している教育課程を終える事ができるのか聞かせて下さい。また、小学6年生、中学3年生といった最終学年の学習指導を、どのように取り組むのか伺います。

答弁 学習の積み残しのできない小学6年生、中学3年生を含め全学年、そして全ての小中学校で計画している内容を終える事ができる状況です。

再質問 答弁にもありました、学校行事ですが“修学旅行”などが中止となり、コロナ禍でやむを得ないとは理解できますが、保護者や先生方からも、「子どもたちに、何か思い出に残る行事をしてあげたい」との声が寄せられておりますが、何か代替え案などを考えているのか伺います。

再答弁 教育委員会では児童生徒の健康面の安全確保を最優先に考え、各校のPTA等と協議を重ねて、7月に修学旅行の中止を決定いたしましたこと、修学旅行が子どもたちにとって大切な思い出を刻むことになることから、例えば3月に日帰り旅行として行えないかなど、各学校で検討しております。また、健康面の安全確保を最大限留意した上で、炊き出し訓練の延長上でのキャンプファイヤーや徒歩で地域の資料館等に出向き、遠足を兼ねての調べ学習を行うなど、各学校が実情に合わせて可能な教育活動を検討、計画しております。

質問を終えて

市役所新庁舎の完成と同時に、住民票などの発行に関して申請書を書かなくても発行ができるなど、新たな取組みが開始されました。また、通話録音も詳しい説明がないまま始められ、市民の皆様が戸惑ってしまった！というのが実態です。せっかく良い事業を行うのですから、しっかりと広報を行い、決め事を明文化して行うべきと伝えさせていただきました。また、振り込め詐欺の防止に関しては「市民の生命・身体・財産を守る」のは市の責務でありますので、早急に行って貰わねばと思います。

これからの“清水”が取組むべき課題

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が経済に与える影響は、12年前の“リーマンショック(以下、リーマン時)”の時より大きいと予想されます。

リーマン時の翌年、深谷市の歳入は約10億円減少し、回復するまでに約3年掛かりましたが、コロナは未だ収束の糸口が見えませんが、様々な状況を想定しながら、政策を立案し提言を行っていく必要があります。また、短期・中期・長期的な政策が必要ですので、国県の来年度予算を調査しながら進めていきたいと思っています。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(59才)

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 議長

このレポートは、政務活動費
を使わず清水個人の自費
で発行しております。